

専門職教育プログラム

- Professional Education Program -

～専門的な資格取得を目指すみなさんへ～

● 教育プログラムの概要

卒業後に中学校・高等学校の**教員**、博物館等で活躍する**学芸員**、図書館で活躍する**司書**、外国人に対する**日本語教員**の資格取得を目指す学生に対応するために、4つの教育課程を用意しています。

● 教育プログラムの特徴

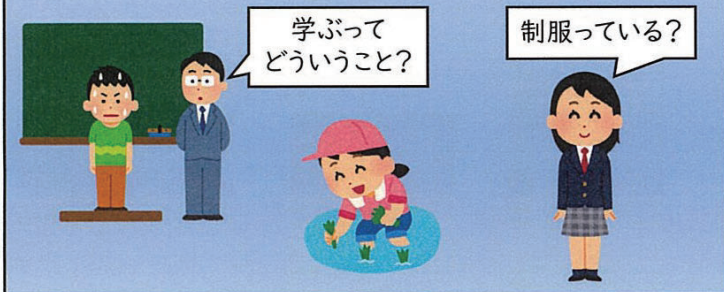
各資格を取得するには卒業に必要な所定の単位とともに各教育プログラムで指定する単位を取得しなければなりません。また、いずれの課程も適切な時期に**事前の登録が必要**になります。

(注)4つすべての資格を取得するのは困難です。必死に頑張っても1つあるいは多くても2つの資格を取得するのがやっとのことなので注意してください。

● 担当者の声

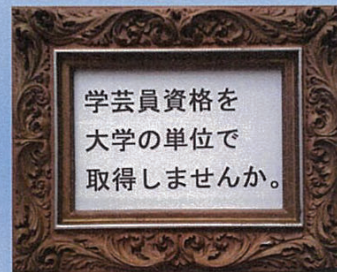
【教職課程】

中学校・高等学校教諭、また、養護教諭、栄養教諭には、各「学科の専門的素養」と、教育学など「教職に関する専門的素養」の両方が欠かせません。理科の教師ならば、理科を教えるとともに、生徒の人間性を育て、来るべき社会を準備するからです。この教育プログラムは、「教職に関する専門的素養」の教育を担当し、教職課程の説明会から、毎学期のガイダンス、教育実習に向けた指導を行います。



【学芸員課程】

学芸員課程は、文部科学省の認可する国家資格である学芸員資格を、大学の単位で取得するコースです。博物館施設（美術館、歴史館、科学館、動物園、植物園など）で、収集・展示・保存・教育を担当する学芸員になることは大変難しいことです。しかしこのコースでは、実際の博物館施設で実習する内容もあり、新たな視点や、知的で美的な好奇心が生まれることと思います。



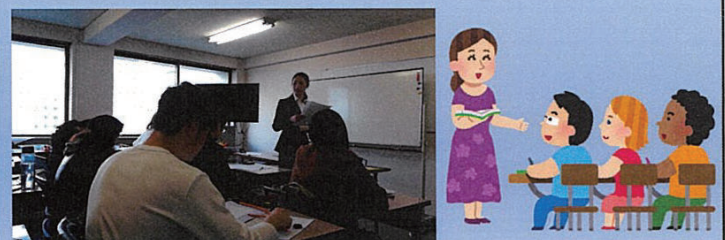
【司書課程】

「司書」とは、都道府県や市町村の公共図書館等で図書館資料の選択、発注及び受け入れから、分類、目録作成、貸出業務、読書案内などを行う専門的職員のことです。司書の資格を希望する学生は、図書館に関する科目を履修して、所定の単位を取得すれば、卒業と同時に図書館法に則り「司書課程修了証書」が授与されます。図書館で働きたいという人は、一緒に司書を目指しませんか？



【日本語教員養成講座】

本講座を修了し日本国内や海外で日本語教師として活躍している方がいます。4年生の日本語教育実習は、かなり大変ですが、実習後は、まるで別人のように目を輝かせて帰ってきます。これは一生懸命学ぶ学習者のお手伝いをすることで、充実感が得られたからでしょう。私たちと一緒に、日本語学習者と触れ合い、教える体験をしてみませんか？あなたの人生が変わるきっかけになるかもしれません。



日本語教育実習風景(2019年度秋学期)